

TRATAMENTO DE ACUPUNTURA É EFICAZ
PARA HEPATITE E PROBLEMA NO FÍGADO.

鍼灸の魔術師

(18)

ペンギン・文・育

さん

『慢性肝炎』

慢性肝炎は肝炎が六カ月以上治癒せず、持続する場合を慢性肝炎という。肝炎は、急性、慢性の原因の多くは、A・B・C型などのウイルス性。特にC型肝炎は、要注意で、六割以上が慢性肝炎に、また三割以上が肝硬変、更には肝臓癌にまで



慢性肝炎は肝炎が六カ月以上治癒せず、持続する場合を慢性肝炎という。肝炎は、急性、慢性の原因の多くは、A・B・C型などのウイルス性。特にC型肝炎は、要注意で、六割以上が慢性肝炎に、また三割以上が肝硬変、更には肝臓癌にまで

しましよう。
肝臓病に鍼灸、葉草、指圧も良い治療効果が得られます。
食品としてはご飯、パン、牛肉、鶏肉、魚、牛乳、豆腐など良質たんぱく質を摂取。
脂肪はバター、チーズ、植物油など、ビタミンはカボチャ、ほうれん草、小松菜、レタス、トマト、大根、キャベツ、キュウリ、果物が良い。
肝臓を大切にすることに注意事項は
1、飲食に細心の注意をす
2、化学添加物食品を食べない。
3、果物と野菜をたくさん食べる。
4、生活のリズムを守る。
5、何時も明るく。
6、よく運動をする。
7、定期的に健康状況をチェックすること。
ペンギン先生が今年診察した肝臓病の方の症状を紹介します。
某女性は六十八歳。十八年前手術の時、輸血をしてC型肝炎に感染しました。
1、彼女は高血圧が原因で手が震える。
2、尿酸が高く、皮膚は敏感でアレルギー現象
3、難聴で耳鳴りがする
4、不眠症に悩んでいた
5、多尿で夜何回もトイレに行く
6、両膝が痛い
7、肺が弱く咳をする
8、全身がだるい
9、疲労のため毎日憂鬱(ゆううつ)。
10、口の中は何時もカラカラに乾く。
ペンギン先生はあせらずに二か月、針灸のほか、漢方薬の小柴胡湯、加味済生腎気丸で、脾臓と胃に食べ物が良く吸収され、消化されるよう薬を与えました。その効果はてきめんで彼女は二か月の間にめきめき良くなりました。
現在この女性は不眠症がうそのようによくなり、熟睡できるようになり、手の震えも止まり、皮膚のアレルギーもなく、疲労感や両膝の痛みもなく、難聴、耳鳴りもなく、多尿の現象もよくなったのです。
不思議なことは肝機能の検査が①T・G・Pの指数が227UIより36UIになり、②TGP指数が130UIから33UIになったのと血糖が88MIL/M3になり完全に正常値に達したことでした。ペンギン先生がもつとも喜んだのは口内の乾きとイライラ、憂鬱だった気持ちが改善されたことでした。
ペンギン先生の診療所は
電話(11)3228・6030、3326・3939にご連絡ください。